

2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月9日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東
コード番号 6156 URL <https://www.a-one-seimitsu.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也
問合せ先責任者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也（TEL）042-363-1039
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第3四半期の業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	1,181	△1.3	45	△66.7	67	△53.2	42	△56.8
2024年6月期第3四半期	1,197	△10.1	136	△43.8	145	△40.1	98	△40.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年6月期第3四半期	8.52		—					
2024年6月期第3四半期	19.72		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	8,349	7,767	93.0
2024年6月期	8,946	8,188	91.5

（参考）自己資本 2025年6月期第3四半期 7,767百万円 2024年6月期 8,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期（予想）				100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,670	4.3	137	△16.7	159	△11.2	86	△28.6	17.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期3Q	5,300,000株	2024年6月期	5,300,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	279,772株	2024年6月期	283,472株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期3Q	5,018,474株	2024年6月期3Q	5,014,558株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、訪日外国人の増加による宿泊や消費量の増大によりサービス業は好調となりましたが、世界経済の後退懸念により製造業は低調となり、全体としては横ばいとなりました。

新型コロナウイルス後の金融緩和、財政政策発動による景気回復傾向から資源高や資産価格上昇により物価上昇となり、その結果インフレ対策で世界的に金利が高まってきました。米国は比較的好景気を維持してきましたが、ここに来て関税問題で先行き景気には不安定要素が増してきました。中国は不動産不況が長引いていて景気状態は悪いと思われますが、製造業の生産活動は内需を大幅に上回る水準で余剰分は輸出へと振り向けられております。東南アジア、欧州などは景気状況は低調で経済成長率は低下してきています。

国内製造業は昨年末の落ち込みから一転して今年の1月、2月と生産設備、機械や電子部品、半導体などは増産となり3月は減速して低調となりました。自動車生産は部品の欠品が解消され比較的堅調に推移しました。4月からの関税率引き上げを見越して輸出品は一時的に増加しました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、1、2月と受注は増加して3月は減少しました。設備部品・機械、電子部品、半導体などは2月にかけて増加しましたが、3月は関税率引き上げを前に様子見が広まったのか生産は減少しました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は822,790千円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益は300,020千円（前年同期比6.4%減）となりました。

切削工具部門では、自動車部品加工は堅調に推移し、設備部品、機械、電子部品、半導体などが2月に増加しましたが、3月は減少となりました。

別注切削工具の製作・再研磨は新たな取引先に接触し受注を獲得したことで、国内製造業の機械稼働率は横ばいでも受注は微増となりました。売上高は109,779千円（前年同期比4.1%増）となりました。

市販切削工具の再研磨は、自動車部品加工が堅調に推移し、設備部品、機械、半導体などが2月にかけて増加しましたが、3月には機械稼働率は低下して当社の受注は減少となりました。売上高は238,552千円（前年同期比5.5%減）となりました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は348,332千円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益は2,689千円（前年同期比94.4%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤で加工する仕事は減少しましたが、現存する設備に使用するカムの受注が一定量入りました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は10,390千円（前年同期比1.3%増）、セグメント損失は3,490千円（前年同期は3,078千円の損失）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,181,513千円（前年同期比1.3%減）、営業利益は45,313千円（前年同期比66.7%減）、経常利益は67,942千円（前年同期比53.2%減）、四半期純利益は42,742千円（前年同期比56.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、5,298,008千円（前事業年度末は6,569,229千円）となり1,271,220千円の減少となりました。これは、未収還付法人税等が52,840千円、その他が14,791千円増加しましたが、現金及び預金が1,292,429千円、前払費用が39,565千円、受取手形及び売掛金が10,872千円減少したこと等によるものであります。

また当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,051,358千円（前事業年度末は2,377,430千円）となり673,928千円の増加となりました。これは、建設仮勘定が113,551千円、繰延税金資産が34,240千円、建物及び構築物が13,928千円減少しましたが、投資有価証券が710,871千円、機械装置及び運搬具が123,727千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における総資産は、8,349,367千円（前事業年度末は8,946,659千円）となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、124,567千円（前事業年度末は210,657千円）となり86,089千円の減少となりました。これは、未払金が52,433千円、未払法人税等が22,530千円、役員賞与引当金が2,810千円減少したこと等によるものであります。

また当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、457,075千円（前事業年度末は547,549千円）となり90,474千円の減少となりました。これは、長期未払金が47,300千円、退職給付引当金が42,496千円、その他が678千円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、581,642千円（前事業年度末は758,206千円）となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、7,767,725千円（前事業年度末は8,188,452千円）となり420,727千円の減少となりました。これは、その他有価証券評価差額金が24,023千円、資本剰余金が8,669千円増加し、自己株式の減少が5,490千円ありましたが、利益剰余金が458,910千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、2025年2月5日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,917,303	4,624,874
受取手形及び売掛金	285,641	274,768
製品	2,357	2,896
原材料	40,736	42,490
仕掛品	273,540	275,293
前払費用	46,251	6,686
その他	3,479	18,271
未収還付法人税等	—	52,840
貸倒引当金	△81	△112
流動資産合計	6,569,229	5,298,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	392,096	378,167
機械装置及び運搬具（純額）	396,015	519,742
建設仮勘定	122,006	8,455
土地	333,534	333,534
その他（純額）	10,768	11,611
有形固定資産合計	1,254,421	1,251,511
無形固定資産	51,478	52,534
投資その他の資産		
投資有価証券	873,002	1,583,873
長期前払費用	3,412	2,619
繰延税金資産	194,957	160,716
その他	271	561
貸倒引当金	△113	△457
投資その他の資産合計	1,071,530	1,747,313
固定資産合計	2,377,430	3,051,358
資産合計	8,946,659	8,349,367
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,850	14,323
未払金	116,443	64,009
未払法人税等	29,896	7,366
役員賞与引当金	4,380	1,570
その他	45,086	37,297
流動負債合計	210,657	124,567
固定負債		
長期末払金	139,670	92,370
退職給付引当金	405,880	363,383
その他	1,999	1,321
固定負債合計	547,549	457,075
負債合計	758,206	581,642

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	356,627	365,296
利益剰余金	7,535,265	7,076,354
自己株式	△194,566	△189,075
株主資本合計	7,989,825	7,545,075
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	198,627	222,650
評価・換算差額等合計	198,627	222,650
純資産合計	8,188,452	7,767,725
負債純資産合計	8,946,659	8,349,367

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,197,597	1,181,513
売上原価	832,196	882,294
売上総利益	365,401	299,218
販売費及び一般管理費	229,120	253,905
営業利益	136,280	45,313
営業外収益		
受取利息	3,237	11,437
受取配当金	4,613	5,999
売電収入	226	596
作業くず売却益	917	1,043
その他	524	4,373
営業外収益合計	9,519	23,450
営業外費用		
株式報酬費用消滅損	687	821
営業外費用合計	687	821
経常利益	145,112	67,942
特別利益		
固定資産売却益	—	140
特別利益合計	—	140
特別損失		
固定資産除却損	902	0
特別損失合計	902	0
税引前四半期純利益	144,210	68,083
法人税、住民税及び事業税	77,953	1,445
法人税等調整額	△32,619	23,896
法人税等合計	45,334	25,341
四半期純利益	98,876	42,742

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

前第3四半期累計期間(自2023年7月1日至2024年3月31日)

譲渡制限付株式報酬の付与対象者の退職に伴い、譲渡制限付株式割当契約に基づき割り当てた当社普通株式2,000株の全てを当社が無償取得したことにより、前払費用として計上していた該当事契約期間の未経過分を、株式報酬費用消滅損として営業外費用に計上しております。

当第3四半期累計期間(自2024年7月1日至2025年3月31日)

譲渡制限付株式報酬の付与対象者の退職に伴い、譲渡制限付株式割当契約に基づき割り当てた当社普通株式4,300株の全てを当社が無償取得したことにより、前払費用として計上していた該当事契約期間の未経過分を、株式報酬費用消滅損として営業外費用に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	829,347	357,997	10,253	1,197,597	—	1,197,597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	829,347	357,997	10,253	1,197,597	—	1,197,597
セグメント利益又は損失(△)	320,591	47,887	△3,078	365,401	△229,120	136,280

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	822,790	348,332	10,390	1,181,513	—	1,181,513
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	822,790	348,332	10,390	1,181,513	—	1,181,513
セグメント利益又は損失(△)	300,020	2,689	△3,490	299,218	△253,905	45,313

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	112,184千円	131,199千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具の 再研磨	小計		
工具製作	829,347	105,457	—	105,457	10,253	945,058
その他	—	—	252,539	252,539	—	252,539
顧客との契約から生じる 収益	829,347	105,457	252,539	357,997	10,253	1,197,597
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	829,347	105,457	252,539	357,997	10,253	1,197,597

当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具の 再研磨	小計		
工具製作	822, 790	109, 779	—	109, 779	10, 390	942, 960
その他	—	—	238, 552	238, 552	—	238, 552
顧客との契約から生じる 収益	822, 790	109, 779	238, 552	348, 332	10, 390	1, 181, 513
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	822, 790	109, 779	238, 552	348, 332	10, 390	1, 181, 513